

## ▼ジメリン錠 [内]

【重要度】★★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】アセトヘキサミド acetoexamide 【分類】経口血糖降下剤 [SU 剤]

【単位】▼250mg・▼500mg/錠

【常用量】250mg/日（適宜増量し，最大1000mg/日）

【用法】分1（朝食前または朝食後）分2（朝・夕食前または食後）

【透析患者への投与方法】禁忌（1,3,17）【PD】避ける（17）【CRRT】避ける（17）

【保存期腎不全患者への投与方法】代謝物に血糖降下作用があるため腎障害のある患者では低血糖が遷延するおそれがあるため投与しない（5）【その他の報告】禁忌（1,12）GFR<50mL/min：禁忌（3）GFR 10mL/min 未満：避ける（17）

【主な副作用・毒性】低血糖，血小板減少，光線過敏症，肝障害，発疹，頭痛，消化器症状など

【F】尿中回収率から77%以上（5）

【tmax】0.9～1.5hr（1）

【代謝】肝で代謝され、主としてL-(-)ヒドロキシヘキサミドになり、これはアセトヘキサミドと同等の血糖降下作用を有する（1）

【排泄】尿中回収率77.2% [72hr まで]（1）一部は胆汁中に排泄（1）

【t1/2】3.17hr（1）1.0～1.3hr（12）活性代謝物：5～8hr（12）【腎不全患者のt1/2】腎機能正常者に比べ延長（12）

【蛋白結合率】85～88%（1）65～90%（12）

【Vd】7.1L/man（1）0.21L/kg（12）

【MW】324.40

【透析性】除去率は低いと思われる（5）少ない（1）

【薬物動態】未変化体と活性代謝物の総和として薬物動態パラメータが示されており、活性代謝物のみでのデータはない（1）【O/W 係数】275 [1-オクタノール/buffer, pH7.4]（1）

【備考】利尿作用を有する。血清クレアチニン値の偽性上昇をもたらす

【更新日】20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。